



## 大塚先生コラム

暑くてジメジメした季節ですね。夏は皮膚トラブルが多い季節です。今回は子どもに多い夏の皮膚感染症（とびひ・水イボ）についてです。

●とびひ（伝染性膿痂疹）は、ブドウ球菌・連鎖球菌などの細菌による皮膚感染症です。

虫刺され・あせも・アトピー性皮膚炎のある子は、暑さでかゆみが強くなり、汚い手でそこを掻いてしまうことにより感染し、傷ついて皮膚に次々と飛ぶように移ることからこのように呼ばれるようになります。抗生剤、かゆみ止めを服用し、皮膚を清潔にすることで治ります。



●水イボ（伝染性軟属腫）は、ウィルスによる感染症です。

直接肌に触れなければ移らないので、プールではタオル・ビート板などを共有しなければ消毒されているプールでは大丈夫とされています。治療は確実なものはなく、いろいろありますので、かかりつけ医に相談してみてください。



## 小児科外来より

6月は溶連菌感染症罹患が数件ありました。気温が上昇し、熱中症や日焼けや虫刺されからのとびひなどにも気を付けなければならない季節になりました。

こまめな水分摂取と日頃のスキンケアを心がけ、この夏を快適にすごしましょう。



病児保育室はっぴいの利用状況は下記の通りです  
(受入れ人数一日3人) 2020/06/01~2020/06/30

	0~1	2~3	4~6	学 童	合 計
能代市	6	7	3	4	20
山本郡	2	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0
合 計	8	7	3	4	22

## お薬についての Q&A (その2)

先月に続き、みなさまからの質問を薬剤師さんに聞いてみました。



Q. 飲まない薬って、家庭ゴミで捨てても良いですか？

### Answer

【顆粒・錠剤・軟膏】紙や封筒に包んで可燃ゴミに出します。

【目薬などの液剤】新聞紙や布に吸収させてから可燃ごみに出します。

【エアゾール剤や噴霧剤】火気のない屋外で、容器に表示しているガス抜き方法で中身を出し切ってから不燃ごみに出します。薬の容器や包装にはリサイクルのための識別マークが表示されているので、お住まいの自治体の分別方法で廃棄してください。

廃棄するときは、お子さんが拾って服用してしまわないよう注意しましょう。



薬剤部長 茂野

## 独立行政法人地域医療機能推進機構(シエイコー)秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町 5-22 3階ナースステーション隣り

T E L (代表) 0185-52-3271 (予約・問い合わせ) 090-8924-4253

アドレス [happy@akita.jcho.go.jp](mailto:happy@akita.jcho.go.jp) ※メールでの予約対応はいたしません